

「ペットは家族の一員」という方も多いと思います。今月から毎月1回掲載するこのコーナーでは、
 県獣医師会の会員が、犬、猫などのペットの病気や治療法、獣医師の仕事内容を紹介します。毎年12月
 なみ、1回目は富山市ファミリーパークのトラの診療を取り上げます。トラはペットとは言えませんが、
 新年の「顔」として、ペットと同様、今年は多くの人に親しまれることでしょう。

いつも一緒 富山のペットたち

皆さんのペットの調子が悪く
 なったら、町の動物病院に連れて
 行って診察を受けさせますよ
 ね。飼い主や獣医師がペットを
 抱いて診察台上に載せ、麻酔をか
 けずに聴診し
 たり、注射や
 採血をしま
 す。



富山市ファミリーパーク 穴田 美佳

富山市ファミリーパーク 動物課副主幹

パークの場合、人が触れるこ
 とにトラをなれさせていないた
 め、直接聴診したり注射をする
 事は危険です。また大きいトラ
 はパーク内の病院に運ぶことも
 できません。そこで、麻酔をか
 けて動物舎で診察をします。麻
 酔銃や吹き矢を使って麻酔薬の
 入った注射を動物に打ちます。
 この注射器は特別な仕掛け
 で、体に針が刺さると中の薬液
 が空気で注入されます。麻酔
 銃で動き回る動物を打つのは難
 しく、狙いが外れることもあり
 ます。針が刺さっても薬が全部
 注入されないうちに怒った動物
 が注射器をくわえて抜くことも

トラの診察



トラの健康診断。歯に歯石や摩耗がないか検査中
 富山市ファミリーパーク

麻酔しても気が抜けず

あります。そんなときは追加で
 注射を打たなくてはなりません。
 麻酔が効いてトラが眠って
 も、まだ安心できません。本当
 に麻酔が効いているか、長い棒
 で鉄格子のすき間からトラの体
 をつついたり、耳や鼻をこちょ

こちょくすくすって確かめます。
 全く動かずしっかり眠っている
 ことを確認したら、いよいよト
 ラの部屋に入ります。万が一診
 察中に目覚めた時に備えてロー
 プでトラの足と口を縛り、体の
 上に網をかけます。
 診察に必要な診療道具を運び

込んでようやく診察が始まるの
 です。しかし診察中も気を抜け
 ません。呼吸をしているか、麻
 酔が覚めてきているか、体温
 は維持できているか常にチェッ
 クします。呼吸が弱くなれば、
 酸素吸入をしたり呼吸促進剤を
 打ちます。まぶたや耳に触れて
 反射を確認し、麻酔が浅くな
 いか確かめます。反射が強くな
 たり体に力が入るようになれば
 覚醒の前兆なので、麻酔を追加
 するか、診察を早く切り上げる
 か、即座に判断しなければなら

掛かりです。トラにもストレス
 がかかります。願わくは麻酔を
 かけずに済むよう健康でいてく
 れればと思います。動物園では
 トラ以外にも大型の動物や鳥、
 爬虫類や小型の動物などがお
 り、さまざまな工夫をしながら、
 2人の獣医師と飼育係が協力し
 て動物の健康管理をしていま
 す。

「釣り・レジャー」面では、ペ
 ットのほか、釣り、園芸、旅行な
 ど多彩な話題を紹介していま
 す。

ません。

診察が終わり、道具を運び出
 し、飼育係も獣医師も全員部屋
 から退出し、トラが元気に目覚
 めるのを確認してからやっと、
 息をつくことができる緊張の仕
 事です。

一口に健康診断といってもト
 ラ相手となると、このように大

ファミリーパークでは2月
 28日まで、干支(えと)展2
 010「虎」を開いています。
 トラの実物大パネルで記念写
 真を撮るコーナー、はく製展
 示、トラの生態や保護など
 ついて詳しく分かるコーナー
 もあります。